

助成事業実施報告書

団体名 いなぎコミュニティビジネスクラブ

代表者・役職名 氏名 代表 浜田 有里恵

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「いなぎ地域ビジネス"創発"カフェ・コンテスト」プロジェクト

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2016 年開講の稻城市教育委員会生涯学習課主催のいなぎ IC カレッジ【成功する地域ビジネス学】(講師:玉川大学准教授長谷川先生)受講生による自主的な地域勉強会からスタート。地域資源が活かされる社会貢献ビジネスについての学びと実践多様な人や企業・団体との地域交流をめざす団体です。会員数 88 名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2018 年度、地域ビジネスを学ぶセミナー&交流会を開催し地域資源の発見と地域課題の理解を進めてきました。2019 年度は引き続き学びの場を継続しつつ次のステップとして、地域事業実践のサポートを計画。地域ビジネスのアイディア発表の場で、参加者とプラッシュアップしていき、事業の賛同者を募り実現に向けてスタートする場「いなぎ地域ビジネス"創発"カフェ&コンテスト」を計画しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

①いなぎ地域ビジネス創発カフェ (So カフェ)

地域ビジネス実践者や地域課題を持っている人を招いて事業活動の現状と課題をプレゼン、その課題を元に登壇者・参加者双方向に課題解決や情報交換の場を設けます。 (6 回)

②いなぎ地域ビジネス創発コンテスト (So コンテスト)

『いなぎ地域ビジネス創発カフェ』でのアイディアを元にした事業活動の経過や今後の目標を参加者へプレゼンする会です。実践者の新規事業プロジェクトの応援と交流を行います。

③地域事業・活動実践者 (So カフェプレゼンター) の発掘とサポート

事業活動が次のステップへスムーズに進むようにヒアリング・フォロー、サポートします。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

①いなぎ地域ビジネス創発カフェ (So カフェ)

・開催日: 4/27、5/26、7/15、9/22、10/19、11/9 (6 回開催) ・参加者 62 名 (6 回開催トータル)

高校生、大学生、会社員、主婦、シニア層の多世代多様な人が参加しました。参加者全体でアイディアを出し合い発表することで刺激になり、新しい交流や活動創出へと結びつきました。

②いなぎ地域ビジネス創発コンテスト (So コンテスト)

・開催日: 12/21 ・参加者 21 名

大学教授や社会活動実践者が集合し、プロジェクトに対して相互に意見を出し合う中でビジネス交流も広がりました。地域課題や社会事業に対する意識を共有・啓発する機会になりました。

③地域事業・活動実践者へのサポート

So カフェ参加者からの紹介や賛同者との出会いで実践者との繋がりが広がりました。実践者とは密に協議を重ねて準備を進めました。So コンテスト開催後はアイディアを事業計画へ活かせるようにフォローアップしました。（約 10 回協議/ 6 名）

●全体を通して

多摩地域内での創業支援団体、事業者、大学の教育機関等へも働きかけ、地域・社会事業関係の関わりができました。地域課題や社会事業に興味や関心のある方々との交流や意見交換ができるコミュニティができました。単に学ぶだけでなく、日々の活動にどう結びつけていくか、実践的に考えて行動していく流れをつくりました。So カフェアイディアを取り入れて 6 名の事業はスタート・拡大しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

地域事業の実践者の中には、活動の構想段階の方からすでに事業を進めている方まで幅広くいらっしゃるので、So カフェではどの辺りの方をメインにするか、プレゼン後はどう応援していくか課題と考えています。また、事業テーマが幅広くテーマにより参加者も変化するため、今後の検討が必要かと思われます。今後さらに若い世代や地域の人財を巻き込みながら気軽にアイディアを出し合い応援、実践していく場作りをしてまいります。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ■・ 特になし

So CONTEST

SOHATSU × SOCIAL ICBC 地域ビジネス創発コンテスト

地域ビジネス事業プレゼンターと参加者が一緒に

リアルな事業課題や可能性に向き合い

真剣にプラッシュアップ・応援する 学びと実践の会

ICBC 有料会員 1,000円

一般*1 2,000円

学生会員 500円

*1 一般で参加するには無料メールの会員の登録が必要です。

受付 12:30

12/21 SAT 13:00-16:30
稲城市地域振興プラザ
4F 大中会議室

主 催



後援
協力

玉川大学 稲城市教育委員会
(IC カレッジ事務局)

参加お申込みはこちら! >



So コンテスト開催!
これまで「So カフェ」に
登壇したプレゼンターが
一堂に集まります!

PRESENTATION & DISCUSSION



インテリアコーディネーター、イラストレーター、ライター、福祉事業者、データ活用家、学生 etc...

多様なキャリア、経験スキル、価値観を持つ人たちと出会う!

So カフェ
参加者の声



- 今後の人生や仕事に参考になる。
- 普段聞けない事業の裏話やアイディアが新鮮!
- 自分ごととして考えるきっかけになりました。
- 地域の意識の高い人が多く刺激になります。
- 同じ価値観の方と出会えて元気になります。
- 私も何か行動しようと思います。



TIME TABLE

12:30	受付
13:00	開会 ~ ICBC の取り組み So カフェについて
13:15	地域ビジネスプレゼンテーションと ディスカッション
15:50	プレゼンターとの交流タイム
16:30	閉会

※プログラムは予告なく変更となる場合がございます

ICBC 地域ビジネス「創発カフェ (So カフェ)」とは

地域ビジネス事業プレゼンターと参加者が一緒にリアルな事業
課題や可能性に向き合い、真剣にプラッシュアップし応援する、
学びと実践の会です。



会場へのアクセス

京王相模原線「稲城駅」下車

徒歩約 10 分

JR 南武線「稲城長沼駅」下車

徒歩約 15 分

〒206-0802

稲城市東長沼 2112 番地の 1

稲城市地域振興プラザ



ICBC (いなぎコミュニティビジネスクラブ) とは

「ICBC」は、稲城市教育委員会主催の
IC カレッジ「成功する地域ビジネス学講座」から
発展し活動がスタートし、セミナーや交流会、
勉強会などを開催。

「地域」の資源や可能性を学び、それぞれの
地域ビジネス・地域活動に実践、活かしていくこ
とで、地域事業の発展や地域活性を目指します。



有料会員・メール会員のご案内

ICBC の理念や活動にご賛同くださる方、いなぎコミュニティ
ビジネスクラブの会員になって、一緒に愛着のある地域、
未来を創っていきませんか?

有料会員・メール会員を随時募集しています。



<https://inagi-icbc.com>

ICBC 稲城 検索